かと目で分かる クリーシッラシンド

平成26年度版



リサイクルプラザ (愛称:豊中伊丹スリーR・センター)



新ごみ焼却施設 (完成予想図:平成28年3月竣工予定)

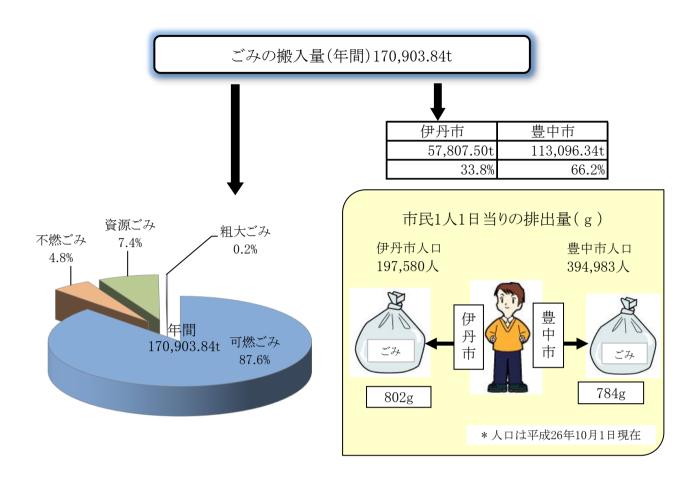




再生工場

平成27年(2015年)11月 豊中市伊丹市クリーンランド

平成26年度 ごみ処理の主な内容



ごみの処理経費(年間) 2,293,323,246円

	処理経費
可燃ごみ	1,678,173,247 円
不燃・粗大、資源ごみ	615,149,999 円



	トン当たり処理経費
可燃ごみ	11,215 円/t
不燃・粗大、資源ごみ	28,936 円/t

* 資源ごみ:ビン類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、缶類、古紙・古布



電気使用関係(年間)

発電量	33,382,803 kWh
売電量	11,902,752 kWh
売電金額	213,474,476 円



資源化状況(年間)

品目	資源化量
鉄 類	860.59 t
アルミ等非鉄類	109.12 t
ビン類	3,092.65 t
ペットボトル	927.79 t
プラスチック製容器包装	4,371.51 t
	428.93 t
古紙·古布	2,526.29 t
合計	12,316.88 t



	ページ
I. 概要	
1. 設立の趣旨及び目的	1
2. 施設配置図	
3. クリーンランドの沿革	2
4. 行政区域及び位置	
5. 人口及び世帯数	5
Ⅱ.組織及び人員	
1. 組織図	6
2. 職種別人員配置	6
3. 職員の勤務体制	7
Ⅲ. 予算•決算	
1. 両市の負担割合	8
2. 当初予算の状況	8
3. 決算の状況	12
IV. ごみ量 1. ごみ搬入量の推移 ····································	18
V. ごみ処理施設使用料等	
1. ごみ処理施設使用料及び臨時ごみ等受付時間	19
VI. 施設見学及び広報等	
1. 見学者数	
2. 啓発イベント	20
3. 出前講座の実績	21
4. リユースコーナー開催状況	21
VII. ごみ焼却施設	
1. 概要	22
2. 施設概要	22
3. ごみ焼却施設フローシート(1~4号炉)	24
4. 月別焼却量の経年変化	25
5. 電力使用量状況	26
6. 処理経費(直接経費)の推移	27
7. 処理経費の内訳	27
8. ダイオキシン類測定値	28

		ページ
VⅢ.	リサイクルプラザ	
	1. 概要	29
	2. 施設概要	29
	3. リサイクルプラザフローシート	32
	4. 処理搬出量	35
	5. 処理経費(直接経費)の推移	35
	6. 処理経費の内訳	
IX.	余熱利用施設(クリーンスポーツランド)	
	1. 概要	
	2. 施設概要	
	3. 現状	36
	4. 収支状況	·· 37
	5. 収支状況の推移	38
Χ.	平成26年度の主な取組み	
	○市民参画協働事業と啓発活動の取り組み	·· 41
	○ごみ焼却施設建設工事及びごみ焼却施設建設付帯工事	46
	○豊中市伊丹市クリーンランドの環境配慮活動	48
	○豊中市伊丹市クリーンランド環境方針	50
	○クリーンランド環境にやさしい作戦 "3つの宣言と33の行動指針"	·· 51

凡例

一部数値の単位未満、平均値及び指数などの算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の小計が一致しない場合があります。

I. 概要

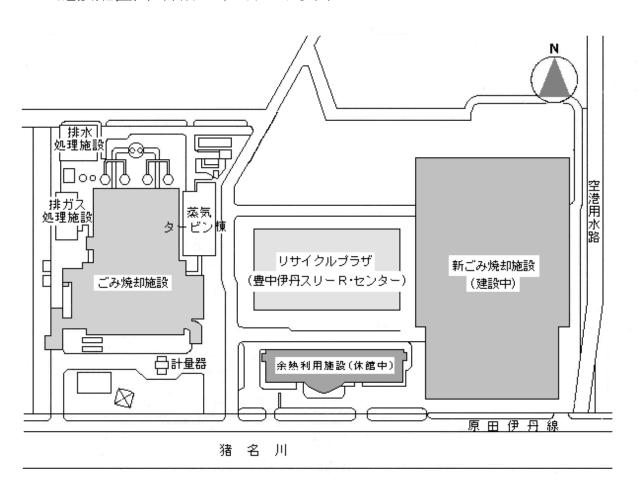
1. 設立の趣旨及び目的

昭和30年代に入って、国民の生活水準の向上や社会情勢の変化による環境衛生に対する関心が高まり、豊中・伊丹両市においても、従来は埋立処理を行っていたごみやし尿を、衛生的に終末処理をする方法について、早急に考えなければならない状況にありました。

両市とも大都市周辺のベッドタウン的存在として、急激な人口増加を伴った発展をしつつ あった時期で、処理施設の建設用地の確保が大変困難でしたが、大阪国際空港、猪名川に隣接する両市の境界線上に近隣住民の理解、協力を得て用地を確保することができました。

そして、豊中市(大阪府)・伊丹市(兵庫県)という行政区域の異なった両市ですが、地元住民の了承と協力を得て、円滑な中間・終末処理を行うための一部事務組合を昭和36年(1961年)に設立しました。

2. 施設配置図 (平成27年3月31日現在)



クリーンランド敷地面積:59,751.65 m²

3. クリーンランドの沿革

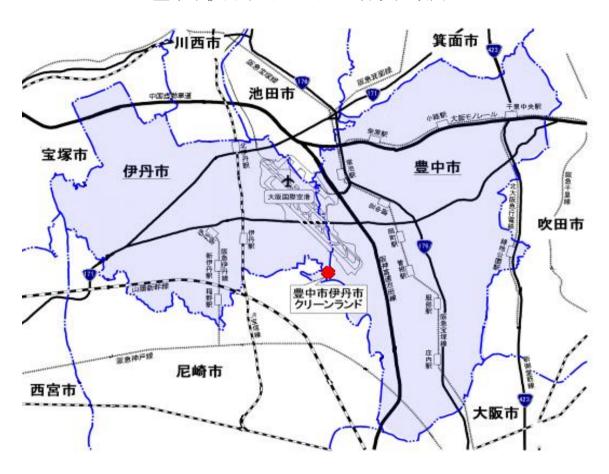
年 月		事項			
昭和36年(1961年)	3月	ごみ焼却施設の建設と運営を目的とし、豊中市伊丹市ごみ焼却場組合として発足			
昭和37年(1962年)		組合規約の一部変更「し尿処理施設の建設と運営」を追加し、組合名称を「豊中 市伊丹市清掃施設組合」に変更			
FEMALOT (1302)	12月	ごみ焼却場竣工(37.5t/8h×4基=150t/8h)【着工S37.1】			
昭和39年(1964年)	5月	し尿処理場竣工(300kl/24h)【着工S38.6】			
昭和43年(1968年)	8月	ごみ焼却場増設工事竣工(150t/24h×2基=300t/24h)【着工S42.1】			
昭和45年(1970年)	12月	ごみ焼却場の改造工事竣工(150t/8hを300t/16hに改造)【着工S45.4】			
昭和46年(1971年)	8月	大型可燃物破砕機竣工(50t/5h)【着工S46.5】			
昭和47年(1972年)	2月	し尿前処理設備竣工【着工S46.9】			
暗和41十(1912十)	10月	大型不燃物(金属類)圧縮機竣工(30t/5h)【着工S47.5】			
昭和48年(1973年)	12月	増設焼却炉の公害防止設備竣工(300t/24h)【着工S48.3】			
昭和49年(1974年)	3月	し尿前処理の公害防止設備竣工【着工S49.1】			
ип ти 43 г. (1974 г.)	3月	予備ピット竣工【着工S47.12】			
昭和50年(1975年)	4月	ごみ焼却施設竣工(225t/24h×3基=675t/24h)【着工S47.12】			
昭和53年(1978年)	3月	排水処理設備竣工(8000/24h)【着工S52.2】			
昭和54年(1979年)	2月	脱水汚泥固型化装置竣工(1t/3h)【着工S53.3】			
ип (1979 4)	12月	し尿消化汚泥脱水設備の改造工事竣工【着工S54.4】			
昭和56年(1981年)	12月 し尿前処理設備の改造工事竣工【着工S56.7】				
昭和57年(1982年)	6月	し尿消化槽攪拌設備の改造工事竣工【着工S57.2】			
昭和62年(1987年)	4月	組合規約の一部変更 組合経費の負担割合を変更			
四年102千(1907千)	6月	燃焼ガス冷却設備(ボイラーチューブ)整備工事竣工【着工S62.1】			
昭和63年(1987年)	2月	復水設備(低圧蒸気コンデンサー)整備工事竣工(CDバンドル)【着工S62.7】			
平成元年(1988年)	10月	水噴射式燃焼ガス冷却設備整備工事竣工(2号炉)【着工H元.8】			
	4月	組合規約の一部変更「ごみ処理場及びし尿処理場の設置及び管理」に変更			
平成 2年(1990年)	8月	復水設備(低圧蒸気コンデンサー)整備工事竣工(ABバンドル)【着工H元.8】			
	9月	1・3号炉水噴射式燃焼ガス冷却設備整備工事竣工【着工H2.8】			
	3月	粗大ごみ処理施設整備事業第1期周辺整備工事竣工【着工H2.6】			
平成 3年(1991年)		予備ピット搬出設備改造工事竣工【着工H2.7】			
	7月	し尿処理施設廃止			

年 月		事項			
		予備ピット脱臭施設整備工事竣工【着工H3.12】			
	3月	計量設備改造等整備工事(計量設備の自動化)竣工【着工H3.12】			
平成 4年(1992年)		第2工場解体整備工事完了【着工H3.12】			
	4月	A合規約の一部変更「ごみ処理場の設置及び管理」に変更			
	9月	粗大ごみ処理施設竣工【着工H2.7】			
	3月	計装設備整備工事(自動燃焼設備)竣工【着工H3.8】			
平成 5年(1993年)	3月	排水処理設備(800l/24h)変更(一部廃止)			
	4月	組合規約の一部変更 組合の名称を「豊中市伊丹市クリーンランド」に変更			
	1月	阪神・淡路大震災の為、煙突の倒壊などの被害が生じる			
平成 7年(1995年)		震災復旧工事(ごみ焼却施設、設備及び仮設煙突建設工事)竣工【着工H7.1】			
平成 (平(1995年)	3月	組合規約の一部変更 「ごみ処理場及び余熱利用施設(温水プール及び休養室をいう)の設置及び管理」に変更			
		増設炉(4号炉)整備工事竣工(195t/24h)【着工H4.6】			
平成 8年(1996年)	3月	震災復旧工事(新設煙突建設工事)竣工【着工H7.1】			
平成 9年(1997年)	10月	余熱利用施設工事竣工【着工H7.11】			
	2月	余熱利用施設クリーンスポーツランド開館			
平成10年(1998年)	7月	排水処理設備改造(冷却塔密閉型に取替え)工事竣工【着工H10.4】			
	12月	CO低減化対策(ごみ焼却施設の1~3号炉)工事竣工【着工H10.6】			
平成12年(2000年)	5月	余熱利用施設クリーンスポーツランド利用者30万人突破			
十八八十 (2000年)	11月	灰固形化施設整備(集じん灰固形化)工事竣工【着工H11.6】			
平成13年(2001年)	4月	家電リサイクル法スタート。フロンガス回収事業廃止。家電ストックヤード整備			
平成13平(2001平)	9月	その他プラスチック類ストックヤード設置工事竣工【着工H13.3】			
平成14年(2002年)	3月	排ガス高度処理施設整備(ダイオキシン対策)工事竣工【着工H11.6】			
十八八14十(2002年)	8月	「豊中市伊丹市クリーンランドごみ処理施設整備基本構想・ごみ処理基本計画策 定会議」を発足【任期H16.3】			
平成15年(2003年)	3月	「豊中市伊丹市クリーンランドごみ処理施設整備基本構想」の策定			
平成16年(2004年)	3月	「豊中市伊丹市クリーンランド一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の策定			
	3月	「PFI基礎調査報告書」の作成			
平成17年(2005年)	7月	余熱利用施設クリーンスポーツランド利用者100万人突破			
F/X11 十 (2000 十)	9月	ダイオキシン類流出事故発生			
	12月	クリーンランド財政再建プランの作成			

年 月		事項
平成18年(2006年)	3月	「PFI導入可能性調査報告書」の作成
平成19年(2007年)	12月	「クリーンランド行財政改革大綱」の策定
平成19平(2007平)	3月	「ごみ処理施設整備にかかる事業化に向けた検討報告書」の作成
	1月	「新・行財政改革プラン」の策定
	3月	「新ごみ処理施設整備検討委員会報告書」の作成
亚卡90年(9009年)	8月	「(仮称)リサイクルセンター整備基本計画」の策定
平成20年(2008年)	8月	「第2次一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(改定)」の策定
	9月	「クリーンランド情報セキュリティポリシー」の策定
	12月	「ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価報告書【第1期(仮称)リサイクルセンターの建設】」の作成
平成21年(2009年)	8月	余熱利用施設クリーンスポーツランド利用者150万人突破
	3月	「ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価報告書【第2期新ごみ焼却施設の建設】」の作成
平成22年(2010年)		「新ごみ焼却施設整備基本計画検討委員会報告書」の作成
十)从22平(2010平)	3月	「新ごみ焼却施設の整備に関する処理方式等技術的検討結果報告書」の作成
		「新ごみ焼却施設整備基本計画」の策定
平成24年(2012年)	3月	リサイクルプラザ(豊中伊丹スリーR・センター)工事竣工【着工H21.5】
平成25年(2013年)	4月	余熱利用施設クリーンスポーツランド休館

4. 行政区域及び位置

豊中市伊丹市クリーンランド行政区域図



面	積
豊中市	36.60 km²
伊 丹 市	25.09 km²
計	61.69 km²

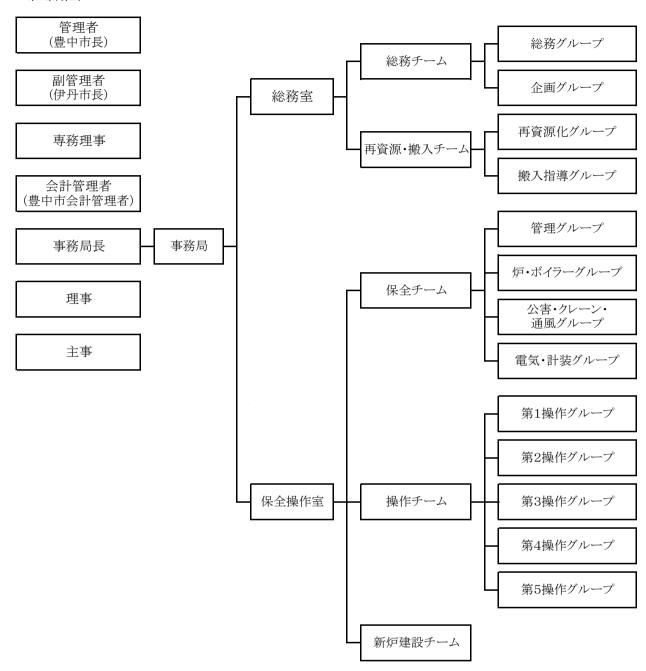
5. 人口及び世帯数

平成26年10月1日現在(推計人口)

		一个成20年10月1日先往10日						
区分	市別	豊中市	伊丹市	合 計				
人	口	394,983 人	197,580 人	592,563 人				
世	带数	172,225 世帯	79,272 世帯	251,497 世帯				

Ⅱ.組織及び人員(平成27年3月31日現在)

1. 組織図



2. 職種別人員配置

							j	単位(人)
	事務職員	技術職員	技能職員	小計	再 任 用	非一 常般 勤職	臨職	総計
総務室	15	3	4	22	8	6	2	38
総 務 チ ー ム	11	1	2	14	1	1	0	16
再資源・搬入チーム	4	2	2	8	7	5	2	22
保 全 操 作 室	0	34	33	67	17	1	3	88
保全チーム	0	7	9	16	5	1	1	23
操作チーム	0	21	23	44	11	0	1	56
新炉建設チーム	0	6	1	7	1	0	1	9
合計	15	37	37	89	25	7	5	126

3. 職員の勤務体制

(1)日勤部門

職員数 71 人

勤務時間(再任用等は除く) 平日 8:45 ~ 17:15

(2)変則勤務部門

職員数 55 人

勤務体制 5グループ2交代制 (1グループ11人×5グループ)

勤務時間(再任用等は除く) 1直 8:45 ~ 17:15

2直16:45~ 9:15日勤8:45~ 17:15

勤務ローテーション表 (例)

	1	2	3	4	5	6	7	8
	木	金	土	日	月	火	水	木
第1操作グループ	1	2	明	休	1	2	明	休
第2操作グループ	2	明	休	1	2	明	休	1
第3操作グループ	明	休	1	2	明	休	1	2
第4操作グループ	休	1	2	明	休	1	2	明
第 5 操 作 グ ル ー プ	日	日	休	休	日	日	日	日

(注)1=1 直 2=2 直 明=夜勤明け 休=公 休 日=日 勤

Ⅲ. 予算•決算

1. 両市の負担割合

* 共通経費勘定

*ごみ処理施設勘定

* リサイクル施設勘定

*ごみ焼却施設勘定

* 単独品目勘定

1/2を人口割・1/2を均等割

1/2を人口割・1/2を処理量割

建設費:計画量割 運営費:処理量割

建設費:計画量割 運営費:処理量割

豊中市負担のみ

2. 当初予算の状況

(1)5勘定合計

[歳入]

L///X/ \				
	年 度	平成 27 年度	平成 26 年度	前 年 比
	_	(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)
共通経費勘定		260,064,000	265,395,000	98.0
ごみ処理施設勘定		2,126,299,000	1,975,162,000	107.7
リサイクル施設勘定		767,827,000	760,364,000	101.0
ごみ焼却施設勘定		6,679,817,000	7,793,298,000	85.7
単独品目勘定		120,510,000	120,666,000	99.9
合	計	9,954,517,000	10,914,885,000	91.2

	年 度	平成 27 年度	平成 26 年度	前 年 比
	_	(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)
共通経費勘定		260,064,000	265,395,000	98.0
ごみ処理施設勘定		2,126,299,000	1,975,162,000	107.7
リサイクル施設勘定		767,827,000	760,364,000	101.0
ごみ焼却施設勘定		6,679,817,000	7,793,298,000	85.7
単独品目勘定		120,510,000	120,666,000	99.9
合	計	9,954,517,000	10,914,885,000	91.2

(2)共通経費勘定

[歳入]

	年 度	平成27年度	平成 26 年度	前 年 比
		(円)	(円)	(%
項目		(A)	(B)	(A/B)
分担金及び負担金		245,796,000	240,899,000	102.
豊中市負担金		143,176,000	140,324,000	102.
伊丹市負担金		102,620,000	100,575,000	102.
使用料及び手数料		4,218,000	4,396,000	96.
繰越金		10,000,000	20,000,000	50.
諸収入		50,000	100,000	50.
合 計		260,064,000	265,395,000	98.

[歳出]

年 月	平成27年度	平成 26 年度	前 年 比
	(円)	(円)	(%)
項目	(A)	(B)	(A/B)
議会費	1,513,000	1,441,000	105.0
総務費	258,451,000	263,854,000	98.0
予備費	100,000	100,000	100.0
合 計	260,064,000	265,395,000	98.0

(3)ごみ処理施設勘定

[歳入]

年度	平成 27 年度	平成 26 年度	前 年 比
	(円)	(円)	(%)
項目	(A)	(B)	(A/B)
分担金及び負担金	892,942,000	1,084,620,000	82.3
豊中市負担金	597,110,000	725,665,000	82.3
伊丹市負担金	295,832,000	358,955,000	82.4
使用料及び手数料	541,169,000	553,839,000	97.7
財産収入	760,000	1,060,000	71.7
繰越金	134,000,000	140,000,000	95.7
諸収入	365,728,000	188,543,000	194.0
組合債	191,700,000	7,100,000	2700.0
合 計	2,126,299,000	1,975,162,000	107.7

	年 度	平成 27 年度	平成 26 年 度	前 年 比	
		(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)	
衛生費		1,996,806,000	1,861,300,000	10	7.3
公債費		129,393,000	113,762,000	11	3.7
予備費		100,000	100,000	10	0.0
合 計	·	2,126,299,000	1,975,162,000	10	7.7

(4)リサイクル施設勘定

[歳入]

	年 度	平成27年度	平成 26 年度	前 年 比
		(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)
分担金及び負担金		599,167,000	680,446,000	88.1
豊中市負担金		361,056,000	411,251,000	87.8
伊丹市負担金		238,111,000	269,195,000	88.5
使用料及び手数料		33,308,000	33,595,000	99.1
財産収入		54,552,000	46,322,000	117.8
繰越金		70,000,000	1,000	7000000.0
諸収入		10,800,000	0	皆増
合 言	+	767,827,000	760,364,000	101.0

[歳出]

	年 度	平成27年度	平成 26 年度	前 年 比
		(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)
衛生費		508,013,000	500,550,000	101.5
公債費		259,714,000	259,714,000	100.0
予備費		100,000	100,000	100.0
合 計		767,827,000	760,364,000	101.0

(5)ごみ焼却施設勘定

[歳入]

年度	平成 27 年度	平成 26 年度	前年比
	(円)	(円)	(%)
項目	(A)	(B)	(A/B)
分担金及び負担金	1,214,904,000	797,583,000	152.3
豊中市負担金	816,173,000	535,816,000	152.3
伊丹市負担金	398,731,000	261,767,000	152.3
国庫支出金	1,923,059,000	2,923,914,000	65.8
繰越金	353,000	10,000,000	3.5
諸収入	1,000	1,000	100.0
組合債	3,541,500,000	4,061,800,000	87.2
合 計	6,679,817,000	7,793,298,000	85.7

年 度	平成 27 年度	平成 26 年度	前 年 比
	(円)	(円)	(%)
項目	(A)	(B)	(A/B)
衛生費	6,172,040,000	7,571,356,000	81.5
公債費	507,677,000	221,842,000	228.8
予備費	100,000	100,000	100.0
合 計	6,679,817,000	7,793,298,000	85.7

(6)単独品目勘定

[歳入]

[// /				
	年 度	平成27年度	平成26年度	前 年 比
		(円)	(円)	(%)
項目		(A)	(B)	(A/B)
分担金及び負担金		59,381,000	84,988,000	69.9
豊中市負担金		59,381,000	84,988,000	69.9
伊丹市負担金		0	0	
財産収入		41,129,000	35,678,000	115.3
繰越金		20,000,000	0	皆増
合	計	120,510,000	120,666,000	99.9

年 度	平成27年度	平成 26 年度	前 年 比
	(円)	(円)	(%)
項目	(A)	(B)	(A/B)
衛生費	120,510,000	120,666,000	99.9
合 計	120,510,000	120,666,000	99.9

3. 決算の状況

(1)5勘定合計

[歳入]

年 度	平成26年度	平成 25 年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
共通経費勘定	265,987,269	271,449,475	98.0	$\triangle 5,462,206$
ごみ処理施設勘定	2,281,296,484	2,849,886,272	80.0	\triangle 568,589,788
リサイクル施設勘定	941,362,660	949,298,966	99.2	$\triangle 7,936,306$
ごみ焼却施設勘定	7,840,408,543	5,339,131,806	146.8	2,501,276,737
単独品目勘定	150,894,229	0	皆増	150,894,229
合 計	11,479,949,185	9,409,766,519	122.0	2,070,182,666

年 度	平成26年度	平成 25 年度	前年比	増 減 額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
共通経費勘定	248,918,230	251,885,464	98.8	$\triangle 2,967,234$
ごみ処理施設勘定	1,898,192,227	2,465,275,844	77.0	△ 567,083,617
リサイクル施設勘定	757,938,482	841,189,794	90.1	△ 83,251,312
ごみ焼却施設勘定	7,793,231,937	5,282,024,103	147.5	2,511,207,834
単独品目勘定	120,496,017	0	皆増	120,496,017
合 計	10,818,776,893	8,840,375,205	122.4	1,978,401,688

(2)共通経費勘定

[歳入]

年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
分担金及び負担金	240,899,000	249,497,000	96.6	\triangle 8,598,000
豊中市負担金	140,324,000	145,332,000	96.6	△ 5,008,000
伊丹市負担金	100,575,000	104,165,000	96.6	\triangle 3,590,000
使用料及び手数料	4,279,664	0	皆増	4,279,664
繰越金	19,564,011	18,800,514	104.1	763,497
諸収入	1,244,594	3,151,961	39.5	$\triangle 1,907,367$
合 計	265,987,269	271,449,475	98.0	$\triangle 5,462,206$

[歳出]

	年 度	平成26年度	平成 25 年度	前年比	増減額
		(円)	(円)	(%)	(円)
項目		(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
議会費		1,405,475	1,368,000	102.7	37,475
総務費		247,512,755	250,517,464	98.8	△ 3,004,709
予備費		0	0	_	0
合 計		248,918,230	251,885,464	98.8	$\triangle 2,967,234$

[歳入歳出差引額]

年 度	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
	17,069,039	19,564,011	87.2	$\triangle 2,494,972$

(3)ごみ処理施設勘定

[歳入]

年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
分担金及び負担金	1,084,620,000	1,347,104,000	80.5	△ 262,484,000
豊中市負担金	725,665,000	899,025,000	80.7	△ 173,360,000
伊丹市負担金	358,955,000	448,079,000	80.1	△ 89,124,000
使用料及び手数料	544,801,134	553,927,086	98.4	$\triangle 9,125,952$
財産収入	1,468,043	2,071,572	70.9	\triangle 603,529
繰越金	384,610,428	286,477,902	134.3	98,132,526
諸収入	258,696,879	211,805,712	122.1	46,891,167
組合債	7,100,000	448,500,000	1.6	△ 441,400,000
合 計	2,281,296,484	2,849,886,272	80.0	\triangle 568,589,788

[歳出]

	年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増減額
		(円)	(円)	(%)	(円)
項目		(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
衛生費		1,767,565,036	2,365,949,049	74.7	△ 598,384,013
公債費		130,627,191	99,326,795	131.5	31,300,396
予備費		0	0	Ī	0
合言	+	1,898,192,227	2,465,275,844	77.0	△ 567,083,617

[歳入歳出差引額]

年 度	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
	383,104,257	384,610,428	99.6	$\triangle 1,506,171$

(4)リサイクル施設勘定

[歳入]

年 度	平成26年度	平成 25 年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
分担金及び負担金	680,446,000	758,683,000	89.7	△ 78,237,000
豊中市負担金	411,251,000	545,944,000	75.3	△ 134,693,000
伊丹市負担金	269,195,000	212,739,000	126.5	56,456,000
使用料及び手数料	31,216,557	30,592,158	102.0	624,399
財産収入	75,437,981	135,387,772	55.7	\triangle 59,949,791
繰越金	108,109,172	14,753,009	732.8	93,356,163
諸収入	46,152,950	9,883,027	467.0	36,269,923
合 計	941,362,660	949,298,966	99.2	$\triangle 7.936.306$

[歳出]

年月	平成26年度	平成25年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
衛生費	498,225,912	581,477,227	85.7	△ 83,251,315
公債費	259,712,570	259,712,567	100.0	3
予備費	0	0	1	0
合 計	757,938,482	841,189,794	90.1	△ 83,251,312

「歳入歳出差引額〕

年 度	平成26年度(円)	平成 25 年度 (円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
	183,424,178	108,109,172	169.7	75,315,006

(5)ごみ焼却施設勘定

[歳入]

年 度	平成 26 年度	平成25年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
分担金及び負担金	797,583,000	516,896,000	154.3	280,687,000
豊中市負担金	535,816,000	347,251,000	154.3	188,565,000
伊丹市負担金	261,767,000	169,645,000	154.3	92,122,000
国庫支出金	2,923,914,000	2,008,983,000	145.5	914,931,000
繰越金	57,107,703	648,821	8,801.8	56,458,882
諸収入	3,840	3,985	96.4	△ 145
組合債	4,061,800,000	2,812,600,000	144.4	1,249,200,000
合 計	7,840,408,543	5,339,131,806	146.8	2,501,276,737

[歳出]

	年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増減額
		(円)	(円)	(%)	(円)
項目		(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
衛生費		7,571,067,016	5,256,613,034	144.0	2,314,453,982
公債費		222,164,921	25,411,069	874.3	196,753,852
予備費		0	0	ı	0
合	計	7,793,231,937	5,282,024,103	147.5	2,511,207,834

[歳入歳出差引額]

年 度	平成26年度(円)	平成 25 年度 (円)	前年比(%)	増 減 額 (円)	
	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)	
	47,176,606	57,107,703	82.6	△ 9,931,097	

(6) 単独品目勘定

[歳入]

	E37-17				
	年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増 減 額
		(円)	(円)	(%)	(円)
Į	頁目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
分	担金及び負担金	84,988,000	0	皆増	84,988,000
	豊中市負担金	84,988,000	0	皆増	84,988,000
	伊丹市負担金	0	0	1	0
財	達収入	65,906,229	0	皆増	65,906,229
	合 計	150,894,229	0	皆増	150,894,229

[歳出]

	年 度	平成 26 年度	平成 25 年度	前年比	増 減 額
	_	(円)	(円)	(%)	(円)
項目		(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
衛生費		120,496,017	0	皆増	120,496,017
合	計	120,496,017	0	皆増	120,496,017

「歳入歳出差引額〕

	平成 26 年度	平成 25 年 度	前年比	増減額
年 度	(円)	(円)	(%)	(円)
	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
	30,398,212	0	皆増	30,398,212

Ⅳ. ごみ量

1. ごみ搬入量の推移

(単位:t)

_						(単位:t)
区分	年度	平成26年度	前年比(%)	平成25年度	前年比(%)	平成24年度
	可燃ごみ	99,917.34	98.3	101,679.03	98.9	102,780.86
	不 燃 ご み	3,056.56	96.8	3,156.74	90.9	3,474.43
豊	粗大ごみ	241.93	89.2	271.37	97.4	278.48
	ビン類	2,256.52	97.4	2,317.29	100.7	2,300.88
	ペットボトル	696.30	98.5	706.77	99.4	711.08
中	プラスチック製容器包装	3,890.63	94.6	4,113.41	91.9	4,477.31
'	缶 類	491.41	88.3	556.57	88.4	629.89
	古 紙 ・ 古 布	2,540.13	94.8	2,680.10	92.4	2,900.96
-	家電4品目(換算値)	5.52	71.4	7.73	79.0	9.79
市	=	113,096.34	97.9	115,489.01	98.2	117,563.68
	人口(人)10月1日現在	394,983	100.2	394,004	100.6	391,536
	排出量/人·日(g)	784	97.7	803	97.6	823
	可 燃 ご み	49,717.05	100.3	49,547.78	99.3	49,921.26
	不 燃 ご み	5,191.98	98.4	5,278.64	93.2	5,665.10
伊	粗大ごみ	38.87	89.2	43.56	104.8	41.57
	ビン類	975.39	98.5	990.29	99.0	1,000.04
	ペットボトル	372.79	97.4	382.69	102.2	374.46
丹	プラスチック製容器包装	1,506.75	97.2	1,550.25	106.4	1,457.06
7 3	缶 類	_	_	_	_	_
	古 紙 ・ 古 布	_	_	_	-	_
市	家電4品目(換算値)	4.67	95.1	4.91	91.9	5.34
111	計	57,807.50	100.0	57,798.12	98.9	58,464.83
	人口(人)10月1日現在	197,580	100.0	197,638	100.1	197,395
	排出量/人·日(g)	802	100.0	801	98.7	811
	可燃ごみ	149,634.39	98.9	151,226.81	99.0	152,702.12
	不 燃 ご み	8,248.54	97.8	8,435.38	92.3	9,139.53
	粗大ごみ	280.80	89.2	314.93	98.4	320.05
合	ビン類	3,231.91	97.7	3,307.58	100.2	3,300.92
	ペットボトル	1,069.09	98.1	1,089.46	100.4	1,085.54
	プラスチック製容器包装	5,397.38	95.3	5,663.66	95.4	5,934.37
	缶 類	491.41	88.3	556.57	88.4	629.89
計	古 紙 ・ 古 布	2,540.13	94.8	2,680.10	92.4	2,900.96
H I	家電4品目(換算値)	10.19	80.6	12.64	83.5	15.13
	計	170,903.84	98.6	173,287.13	98.4	176,028.51
	人口(人)10月1日現在	592,563	100.2	591,642	100.5	588,931
	排出量/人・日(g)	790	98.5	802	98.0	819

[※] 家電4品目は冷蔵庫 $70 \, \mathrm{kg}$ 、エアコン $50 \, \mathrm{kg}$ (室内機 $10 \, \mathrm{kg}$ 、室外機 $40 \, \mathrm{kg}$)、洗濯機 $30 \, \mathrm{kg}$ 、テレビ $30 \, \mathrm{kg}$ で換算値を算出しています。

V. ごみ処理施設使用料等

1. ごみ処理施設使用料及び臨時ごみ等受付時間

ごみ処理施設使用料				
市扱いごみ	無料			
一般持込みごみ	10kgにつき87円			

臨時ごみ等受付時間				
平 日 14:00~16:30				
土曜日	10:00~16:00			
祝祭日	当該曜日の受付時間			

[※] ただし、土曜日は12:00~12:45除く。

VI. 施設見学及び広報等

1. 見学者数

区分	幼稚 保育		小学 中学		両市市	 大民等	他市市	市民等	その)他	合	計
月別	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件 数	人数	件 数	人数	件数	人数
4	1	46	8	696	7	56	1	6	22	192	39	996
5	0	0	20	1,695	6	34	0	0	9	25	35	1,754
6	0	0	30	2,247	1	1	0	0	5	67	36	2,315
7	0	0	6	458	14	184	4	12	10	30	34	684
8	2	85	0	0	14	94	4	6	12	62	32	247
9	1	25	0	0	6	29	3	3	4	10	14	67
10	0	0	5	233	7	49	3	9	11	44	26	335
11	0	0	3	140	20	264	3	26	7	34	33	464
12	2	64	1	5	8	117	1	2	1	34	13	222
1	0	0	0	0	2	8	0	0	3	7	5	15
2	2	61	0	0	6	56	1	2	3	5	12	124
3	0	0	0	0	10	65	2	27	7	31	19	123
計	8	281	73	5,474	101	957	22	93	94	541	298	7,346

^{※「}小学校・中学校」の見学者数には、中学生による職場体験学習を含む。

[※] 日曜日・年末年始(12/29~1/3)は除く。

[※] 小学校の大規模校で、午前及び午後に分かれて見学する場合、2件として計上している。

^{※「}両市市民等」「他市市民等」は、個人での見学のほか、自治会・老人クラブ・婦人会・PTA等の団体を含む。

^{※「}その他」は両市職員の見学者、行政視察、小学校の下見、企業による視察等。

2. 啓発イベント

実 施 日	イベント名 目 的	内 容	人数	主催
8月 2日	豊中まつり2014 市民との協働イベントを通して、持続可能な地域社会づくりをめざす。	・ごみ分別輪投げ ・パネル展示 ・禁忌品の展示 ・施設案内パンフレット配布 ・クリーンランドフェスティバ ル案内チラシ配布 ・ごみぶくろう出演	978	豊中まつり 実行委員会
9月14日	伊丹市シルバーフェスティバル クリーンランドでの市民協働の取組みをPR する。	・パネル展示 ・施設案内パンフレット配布 ・クリーンランドフェスティバ ル案内チラシ配布	200	伊丹市シルバー フェスティバル 実行委員会
10月 18日	第9回とよっぴ一祭り 市民との協働をとおして、「クリーンランドの PR」を推進する。	・ごみ分別輪投げ・パネル展示・クリーンランドフェスティバル案内チラシ配布・ごみぶくろう出演	400	NPO花と緑の ネットワーク
10 月25日	いたみ環境&リサイクルフェア2014 「3Rの啓発」と「クリーンランドPR」を推進する。	・ごみ分別輪投げ・パネル展示・リユースコーナー・クリーンランドフェスティバル案内チラシ配布	400	エコロジー マーケット 実行委員会
11月 9日	第9回クリーンランドフェスティバル 「やっていますか環境にやさしいこと」を テーマにクリーンランドから3R推進を発信 する。	・パネル展示・禁忌品展示・施設見学・ごみ分別輪投げ等 各種体感ゲーム・各種ステージ催し・ごみぶくろう出演	694	クリーンランド フェスティバル 実行委員会
11 月21日 ~22日	とよなか市民環境展2014 クリーンランドでの市民協働の取組みをPR する。	・ごみ分別輪投げ ・パネル展示 ・リユースコーナー ・ごみぶくろう出演	958	NPOとよなか 市民環境会議 アジェンダ21

3. 出前講座の実績

実施	方 訳	件数	参加人数
	保 育 所	3	164
クリーンランド単独 での実施	その他	2	78
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	計	5	242
	保 育 所	7	562
クリーンランドと	小 学 校	10	819
両市収集部門等	中 学 校	1	64
との協同実施	その他	7	199
	計	25	1,644
	保育所	10	726
	小 学 校	10	819
合計	中 学 校	1	64
	その他	9	277
	計	30	1,886

4. リユースコーナー開催状況

開催期間	抽選日	開催場所	出品数(点)	応募者数(人)
6月4日~7月3日	7月4日	豊中市環境交流センター	10	41
10月1日~11月9日	11月9日	リサイクルプラザ	13	33
10月25日	10月25日	伊丹市立労働福祉会館(スワンホール)	9	49
11月21日~11月22日	11月22日	豊中市立豊島体育館	10	28
2月7日~2月21日	2月21日	伊丹市立図書館(ことば蔵)	10	49
		計 5回	52	200

WI. ごみ焼却施設

1. 概要

当施設は、大阪府豊中市と兵庫県伊丹市から搬入される可燃ごみとリサイクルプラザで選別処理された可燃物を公害防止等に十分配慮を加え、衛生的に焼却処理すると共に、焼却時に発生する余熱を利用した発電設備を有する等、近代性と合理性を兼ね備えたごみ焼却施設です。

2. 施設概要

(1) 所在地 兵庫県伊丹市岩屋2丁目4番12号

(2) 建築面積 7,478 m² 鉄筋コンクリート造(地下1階、地上5階)

延べ面積15,044 ㎡建築高さ30.9 m煙突高さ45 mごみピット約6,100 ㎡灰ピット約1,300 ㎡

(3) 施設

①焼却施設(1~3号炉)

着工年月日昭和47年12月27日竣工年月日昭和50年4月30日処理能力675t/24h(225t×3基)

総事業費 4,096,541 千円

(財源内訳) 国庫補助金 774,878 千円

府県補助金130,190 千円起債2,657,000 千円一般財源534,473 千円

②脱水汚泥固定化施設

着工年月日昭和53年3月22日竣工年月日昭和53年7月31日

処理能力 1t/3h

総事業費39,500 千円(財源内訳)起債37,500 千円一般財源2,000 千円

③焼却施設(4号炉)

着工年月日平成4年6月30日竣工年月日平成7年3月31日

処理能力 195t/24h

総事業費 11,330,000 千円 (財源内訳) 国庫補助金 1,653,697 千円

> 起債 7,014,200 千円 一般財源 2,662,103 千円

④排ガス高度処理施設(1~3号炉)

着工年月日平成11年6月25日竣工年月日平成14年3月15日処理能力63,590Nm³/h

総事業費 3,408,064 千円 (財源内訳) 国庫補助金 1,518,093 千円 起債 1,543,600 千円

一般財源 346.371 千円

⑤灰固形化施設

着工年月日平成11年6月25日竣工年月日平成12年11月29日処理能力1.75t/h×2基

総事業費442,976 千円(財源内訳)国庫補助金123,805 千円起債270,900 千円

一般財源 48,271 千円

《プラント設備》

(1) 燒却炉 225t/24h×3基(1~3号炉)

195t/24h×1基(4号炉)

形式 デ・ロール式(3段揺動式火格子)

(2) ガス冷却方式 ボイラー方式+水噴射式

(3) 給塵設備 ピットアンドクレーン方式 投入扉 シャッター(7)、ヒンジ式(5)

破砕機 デ・ロール式剪断破砕機 処理能力 150 m³/h

投入クレーン 6t (バケット容量4m³)

(4) 通風設備 平衡通風式

押込送風機 50,000Nm³/h×3基(1~3号炉)

49,400Nm³/h×1基(4号炉)

炉内冷却用送風機 18,300Nm³/h×1基(4号炉) 誘引通風機 73,200Nm³/h×1基(1~3号炉)

82,700Nm³/h×1基(4号炉)

レンガ冷却用送風機 11,000Nm³/h×3基(1~3号炉)

17,500Nm³/h×1基(4号炉)

(5) 排ガス処理設備 窒素酸化物除去装置+乾式有害ガス処理+湿式有害ガス処理装置

(6) 灰出し設備 チェーンコンベア・ピットアンドクレーン方式

灰出しクレーン6.3t(バケット容量 2.5 m³)×2基灰固形化設備固化剤、薬剤混練方式(2基)

(7) 発電設備 蒸気タービン発電機(2,000kW)1基

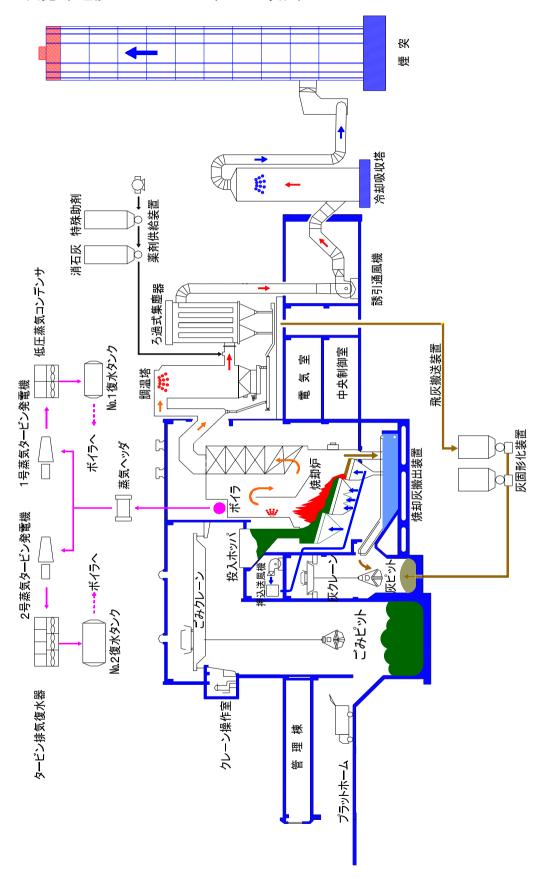
蒸気タービン発電機(5,000kW)1基

(8) 排水処理設備 pH調整+凝集沈殿

(9) 電気設備1式(10) 計装設備1式(11) 脱水設備1式

(12) ACC(自動燃焼制御)装置 1式

3. ごみ焼却施設フローシート(1~4号炉)



4. 月別焼却量の経年変化

年度	26年	三度	25年	三度	24年	F 度	23年	F.度	22年	F 度
	焼却量	暦日平均	焼却量	暦日平均	焼却量	暦日平均	焼却量	暦日平均	焼却量	暦日平均
月	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)
4	12,393	413	12,296	410	11,645	388	11,710	390	12,600	420
5	12,929	417	15,966	515	15,598	503	15,831	511	14,872	480
6	14,115	470	13,430	448	13,804	460	13,767	459	14,370	479
7	13,496	435	13,094	422	12,976	419	15,150	489	13,482	435
8	13,351	431	12,483	403	13,650	440	13,618	439	14,762	476
9	13,346	445	14,502	483	12,893	430	14,985	500	13,322	444
10	13,450	434	12,503	403	15,099	487	14,023	452	12,695	410
11	13,893	463	14,069	469	13,173	439	14,113	470	14,935	498
12	13,872	447	14,425	465	15,364	496	16,418	530	15,817	510
1	13,999	452	12,854	415	11,647	376	13,248	427	13,447	434
2	9,961	356	9,744	348	12,814	458	12,193	420	9,773	349
3	14,063	454	14,117	455	12,122	391	14,732	475	14,916	481
計	158,867	435	159,484	437	160,784		169,789			

※各月の焼却量については小数点以下を四捨五入。 月別焼却量の経年変化(暦日平均焼却量) 26年度 ---24年度 ---23年度 ---22年度 焼却量(t) 月

5. 電力使用量状況

項目		総	供給	電力	量		逆送電	〕力量
	特高受電量 (買電)		発電量		計		(売電)	
	取引電力量	暦日平均 1時間当り	DCS	暦日平均 1時間当り		暦日平均 1時間当り	取引電力量	暦日平均 1時間当り
	A	電力量	В	電力量	A+B=C	電力量	D	電力量
年度	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)
11	323,664	37	43,120,481	4,909	43,444,145	4,946	17,589,645	2,002
12	487,752	56	43,406,606	4,955	43,894,358	5,011	17,593,062	2,008
13	686,469	78	44,004,813	5,023	44,691,282	5,102	15,685,688	1,791
14	900,856	103	43,473,907	4,963	44,374,763	5,066	14,760,644	1,685
15	784,492	89	42,625,080	4,853	43,409,572	4,942	12,714,266	1,447
16	597,960	68	42,369,054	4,837	42,967,014	4,905	14,180,628	1,619
17	619,240	71	41,533,755	4,741	42,152,995	4,812	13,785,531	1,574
18	729,890	83	41,194,963	4,703	41,924,853	4,786	13,610,873	1,554
19	621,150	71	38,402,326	4,372	39,023,476	4,443	11,781,284	1,341
20	949,300	108	36,223,331	4,135	37,172,631	4,243	10,769,322	1,229
21	853,676	97	34,704,171	3,962	35,557,847	4,059	9,871,809	1,127
22	832,226	95	36,077,302	4,118	36,909,528	4,213	11,461,191	1,308
23	859,153	98	35,669,950	4,061	36,529,103	4,159	10,631,340	1,210
24	558,894	64	34,602,262	3,950	35,161,156	4,014	11,267,248	1,286
25	655,729	75	33,904,849	3,870	34,560,578	3,945	11,516,753	1,315
26	880,435	101	33,382,803	3,811	34,263,238	3,911	11,902,752	1,359

	1		w =						1
項目			総需	要	電	力量			
\			*粗大ごみ						電力自給率
	ごみ 焼却施設 電力使用量	暦日平均 1時間当り 電力量	処理施設/ リサイクル プラザ 電力使用量	暦日平均 1時間当り 電力量	余熱 利用施設 電力使用量	暦日平均 1時間当り 電力量	計	暦日平均 1時間当り 電力量	<u>B-D</u>
年度 \	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(kWh)	(%)
11	20,668,530	2,353	2,217,257	252	1,226,817	140	24,112,604	2,745	98.7
12	20,471,306	2,337	2,317,647	265	1,117,718	128	23,906,671	2,729	98.1
13	25,612,865	2,924	2,310,910	264	367,457	42	28,291,232	3,230	97.6
14	25,652,627	2,928	2,275,204	260	1,020,170	116	28,948,001	3,305	97.0
15	25,487,761	2,902	2,215,173	252	1,176,539	134	28,879,473	3,288	97.4
16	24,838,898	2,835	2,118,630	242	1,210,168	138	28,167,696	3,215	97.9
17	24,397,779	2,785	2,217,956	253	1,154,954	132	27,770,689	3,170	97.8
18	24,385,517	2,784	2,267,738	259	1,067,370	122	27,720,625	3,164	97.4
19	23,334,665	2,656	2,249,897	256	1,079,432	123	26,663,994	3,036	97.7
20	22,657,153	2,586	2,213,075	253	970,209	111	25,840,437	2,950	96.4
21	22,244,891	2,539	2,152,070	246	761,104	87	25,158,065	2,872	96.7
22	21,985,634	2,510	2,055,886	235	805,664	92	24,847,184	2,836	96.7
23	22,059,604	2,511	2,195,519	250	812,064	92	25,067,187	2,854	96.7
24	21,129,368	2,412	1,408,236	161	794,092	91	23,331,696	2,663	97.7
25	21,217,586	2,422	1,293,359	148	32,428	4	22,543,373	2,573	97.2
26	20,634,596	2,356	1,228,795	140	15,268	2	21,878,659	2,498	96.1

[※] 平成23年度までが粗大ごみ処理施設電力使用量、平成24年度以降はリサイクルプラザ電力使用量。

6. 処理経費(直接経費)の推移

区分 年度	処理経費(円)	可燃 ごみ 搬入量(t)	トン当り 処理経費(円)	焼却量(t)	トン当り 処理経費(円)
24	1,741,725,448	152,702	11,406	160,784	10,833
25	1,633,009,243	151,227	10,798	159,484	10,239
26	1,678,173,247	149,634	11,215	158,867	10,563

7. 処理経費の内訳

年 度	平成26年度	平成25年度	前年比	増減額
	(円)	(円)	(%)	(円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
直接経費	1,678,173,247	1,633,009,243	102.8	45,164,004
人件費	650,191,437	660,409,479	98.5	△ 10,218,042
報酬	12,759,079	29,990,497	42.5	△ 17,231,418
給料	296,956,221	293,345,886	101.2	3,610,335
職員手当等	235,306,064	232,497,933	101.2	2,808,131
共済費	105,170,073	104,575,163	100.6	594,910
物件費	1,027,981,810	972,599,764	105.7	55,382,046
消耗品費	189,756,589	158,219,839	119.9	31,536,750
光熱水費	86,387,733	87,697,524	98.5	△ 1,309,791
工事·修繕料	414,504,049	425,665,680	97.4	△ 11,161,631
残灰処分委託料	238,365,637	225,137,603	105.9	13,228,034
その他	98,967,802	75,879,118	130.4	23,088,684
間接経費	474,000	1,967,000	24.1	△ 1,493,000
ごみ処理整備費	474,000	1,967,000	24.1	△ 1,493,000
合 計	1,678,647,247	1,634,976,243	102.7	43,671,004

8. ダイオキシン類測定値

平成26年度のダイオキシン類の測定結果は下表のとおりです。いずれも「ダイオキシン類対策特別措置法」により定められている現在の基準値を下回っています。

(1)排ガス

1 号 炉	2 号 炉	3 号 炉	4 号 炉
0.039 ng-TEQ/Nm³	0.017 ng-TEQ/Nm³	0.025 ng-TEQ/Nm³	0.020 ng-TEQ/Nm³

大気排出基準値=1ng-TEQ/Nm3

(2)排水

処 理 水

水質排出基準值=10pg-TEQ/0

※ ng(ナノケラム)は10億分の1ケラム pg(ピコグラム)は1兆分の1グラム

ダイオキシン類の排出基準は「ダイオキシン類対策特別措置法」により、廃棄物の焼却炉などに係る排出ガス又は排出水に含まれるダイオキシン類の排出の削減に係る技術水準を勘案し、焼却炉などの種類及び構造に応じて定められています。

W. リサイクルプラザ(豊中伊丹スリーR・センター)

1. 概要

当施設は、豊中・伊丹両市より発生する粗大・不燃ごみ、資源系ごみ類からの有価物の資源回収ならびに減容化による最終処分場の有効利用、延命化を図るものです。

粗大・不燃ごみ類系統(53t/5h)および資源系統(81t/5h)から構成され、資源系統はプラスチック製容器包装系統、缶類系統、ビン類系統、ペットボトル系統、古紙古布系統、剪定枝等の系統があります。

高性能、最新鋭の施設であることはもちろんの事、環境との調和、公害の防止、働く作業員の安全性および機能性が考慮されています。

見学者の利便性に配慮した配置であり、現在、敷地東側で建設されている新ごみ焼却施設と一体的に運用出来るよう考慮した「森の中の再生工場」です。

2. 施設概要

(1) 所在地 大阪府豊中市原田西町2番1号

(2) 建築面積 5,126.06 m² 鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造

延べ面積 11,031.46 ㎡ 建築高さ 24.186 m

(3) 施設

リサイクルプラザ

着工年月日平成21年5月14日竣工年月日平成24年3月31日

処理能力 134t/5h

処理対象物 不燃ごみ、粗大ごみ

ペットボトル、ビン類、プラスチック製容器包装、缶類、古紙・古布

総事業費 6,478,500 千円

(財源内訳)国庫補助金1,974,753 千円起債3,963,400 千円一般財源540,347 千円

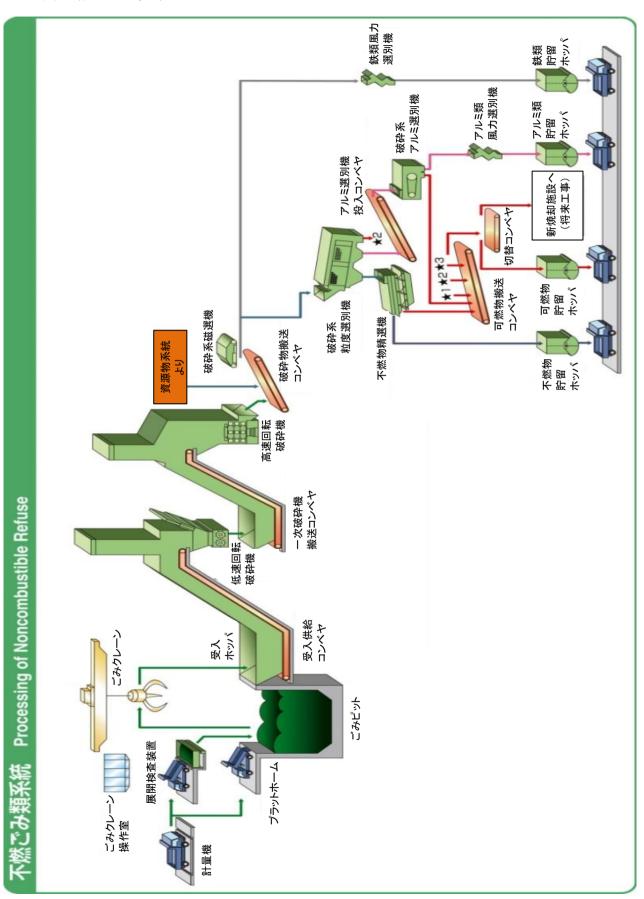
《プラント設備》

	1 P/V I/M //		
(1)	受入供給設備		
	○計量機(入口、出口)	:ロードセル式、秤量30t、最小目盛10kg	2基
	○プラットホーム	:面積623㎡	1式
	○展開検査装置	:傾転式、容量5㎡、	1基
	○粗大・不燃ごみピット	:容積1,060㎡(2日分)	1式
	○プラ容器ピット	:容積1,240㎡(2日分)	1式
	○ごみクレーン	: 吊上げ8.5t、バケット容量(切取)20㎡、	
		半自動式	1基
	○不燃・粗大ごみ受入供給コンベア	:有効幅1.4m機長10.4m	1基
	○プラ容器受入供給コンベア	:有効幅1.4m機長12.0m	2基
	○ペットボトル受入供給コンベア	:有効幅1m機長13.2m	1基
	○ビン類コンテナ反転装置	: 処理827ケース/日(豊中市コンテナ627	
		ケース/日、伊丹市200ケース/日)	1基
	○プラ容器破袋機	:一軸搖動式、3.1t/h	2基
	○缶類破除袋機	:二軸ローター式、1.2t/h	1基
	○缶類受入貯留ヤード	:屋内式250㎡(2日分)	1式
	○ペットボトル受入貯留ヤード	:屋内式428㎡(2日分)	1式
	○びん受入貯留ヤード	:屋内式28t(2日分)	1式
	○古紙古布ストックヤード	:屋内式264 m³	1式
	○剪定枝受入貯留ヤード	:屋内式20㎡(2日分)	1式
(2)	破砕設備		
` ′	○低速回転破砕機	:二軸せん断式 10.6t/h 電動機200kW	1基
	○高速回転破砕機	:竪型リンググラインダ式 10.6t/h	_
		電動機300kW	1基
	○剪定枝破砕機	:破砕機一体型植繊機 0.5t/h	1基
	○スプレー缶破砕処理設備	:真空二軸破砕式100本/15分	1基
(3)	搬送設備		
(0)	○各種搬送コンベア		14基
(4)			1125
(4)		:電磁永磁併用吊下げベルト式、1.02t/h	1
	○破砕系磁選機		1基
	○破砕系粒度選別機 ○ 乙燃物特別機	:回転ふるい式、10.5t/h	1基
	○不燃物精選機	:振動+風力選別式、3.3t/h	1基
	○破砕系アルミ選別機	:プーリ式永久磁石回転式、5.1t/h	1基
	○鉄類風力選別機 ○マルン類風力 湯田(株)	: 縦型風力選別機、1.02t/h	1基
	○アルミ類風力選別機 ○午類既選機	: 縦型風力選別機、0.43t/h : 永久磁石吊下げ式、0.77t/h	1基
	○缶類磁選機		1基
	○プラ容器粒度選別機	:ベルトコンベア付回転ふるい式、3.1t/h	2基
	○プラ容器小径物振動ふるい	:振動ふるい式、1.78t/h	2基
	○ペットボトル振動ふるい	:振動ふるい式、1.2t/h	1基

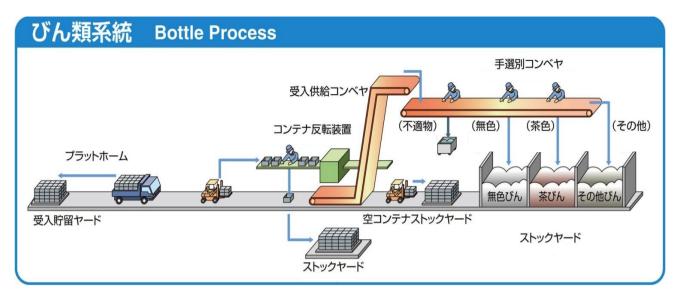
(5)	圧縮•梱包設備		
	○缶類圧縮機	:油圧二方締式、鉄0.77t/h、アルミ0.27t/h	1基
	○プラ容器圧縮梱包機	:圧縮梱包式(一方向横押し)、3.1t/h	2基
		スパイラル6面固縛包装式	
	○ペットボトル圧縮梱包機	:圧縮梱包式、1.2t/h、PPバンド自動結束	1基
	○ペットボトル穴あけ機	:二軸回転式、1.2t/h	1基
	○貯留ホッパ	:鉄類(1)、アルミ類(1)、可燃物(2)、	
		不燃物(2)、白色トレイ(1)	7基
	○プラ容器圧縮梱包品ストックヤード	:屋内式120㎡、53.2t(2日分)	1面
	○スチール缶圧縮梱包品ストックヤード	:屋内式18㎡、7.6t(2日分)	1面
	○アルミ缶圧縮梱包品ストックヤード	:屋内式18㎡、2.66t(2日分)	1面
	○ペットボトル圧縮梱包品ストックヤード	:屋内式28㎡、11.84t(2日分)	1面
	○無色ビンストックヤート゛	:屋内式15㎡、7.86t(2日分)	1面
	○茶色ビンストックヤート・	:屋内式13㎡、6.28t(2日分)	1面
	○その他ビンストックヤート゛	:屋内式18㎡、11.08t(2日分)	1面
(6)	集じん設備・脱臭設備		
	○破砕系サイクロン	:単式サイクロン	1基
	○袋捕集機	:メッシュセパレータ	1基
	○破砕系バグフィルター	:自動払い落とし式	1基
	○資源系バグフィルター	:自動払い落とし式	1基
	○資源系脱臭装置	:活性炭吸着処理方式	1基
	○ピット系脱臭装置	:活性炭吸着処理方式	1基
(7)	給排水設備		
	○給水設備	:各設備ヘプラント用水、水道水を給水	1式
	○排水設備	:生活排水浄化槽処理後一部トイレ洗浄水利用	1式
		:プラント排水処理後一部再利用	1式
	○高架水槽、冷却塔、各種ポンプ		1式
(8)	電気設備		
(-)	○受変電設備	:高圧受配電盤、高圧進相コンデンサ盤	1式
	○動力設備	:動力制御盤、現場制御盤	1式
	○直流電源盤	7,7,7,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1	1式
	○建築電気設備		1式
	○太陽光発電設備		1式
(9)	計装制御設備		
(0)	○オペレーターコンソール	:デスクトップ型、LCD式	1式
	○可燃ガス検知器、火炎検知器	:吸収式、拡散式ガス検知、紫外線火炎検知	1式
	○ITV装置	: 監視カメラ、モニタ	1式
(10)	その他		
(10)	○薬液噴霧装置	:ごみピット内噴霧、一流体噴霧方式	1式
	○古紙リサイクル装置	:見学者用、トイレットペーパー製造機	1式 1式
	○口(以)ソイフ/ビ衣担	・元子は用、ビリビンド、こう、一般坦燃	11/

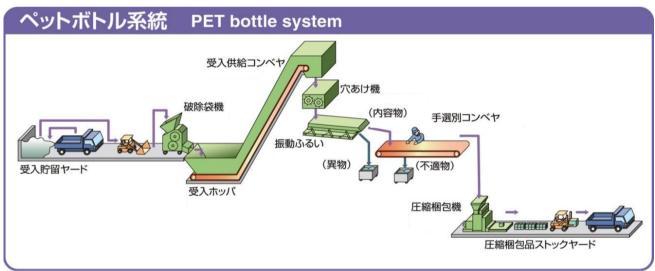
3. リサイクルプラザフローシート

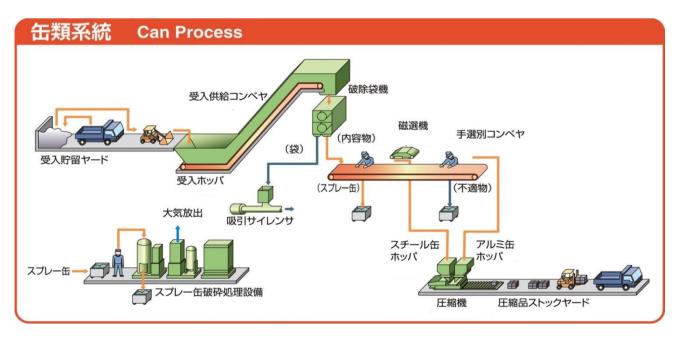
(1)不燃ごみ類系統

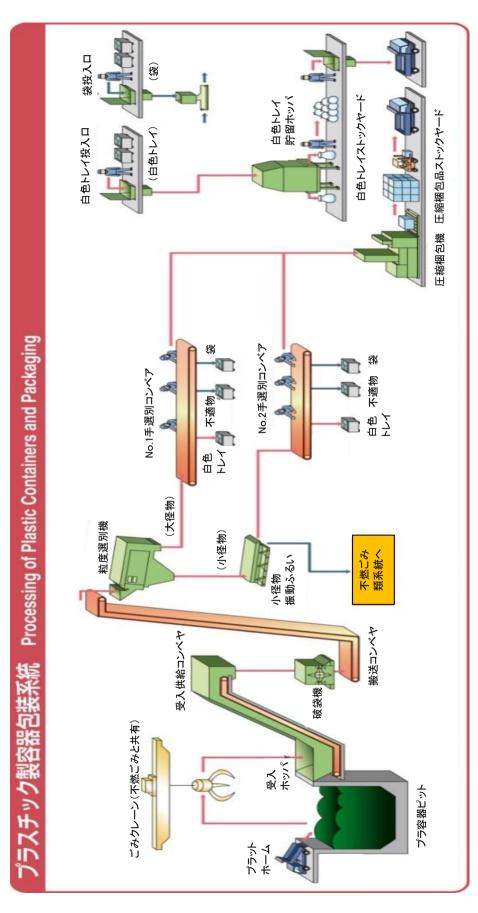


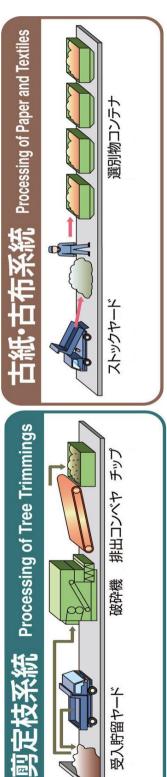
(2)資源ごみ類系統











4. 処理搬出量

不燃ごみ系統

項目	処理選別物搬出量								
	可炒	然物	不然	然物	鉄	:類	非鉤		
年度	搬出量 (t)	搬出台数(台)	搬出量 (t)	搬出台数(台)	搬出量 (t)	搬出台数(台)	搬出量 (t)	搬出台数(台)	
24	7,733.00	6,102	1,642.58	218	960.51	321	104.33	54	
25	7,280.16	5,800	1,685.94	233	922.76	421	102.00	57	
26	7,190.59	5,763	1,792.83	220	860.59	387	109.12	76	

[※] 破砕処理後、可燃物はごみ焼却施設で焼却、不燃物はフェニックスに埋め立て処分、鉄類・非鉄類は資源 化物として売却。

資源ごみ系統

項目					処理選別	物搬出量				
I VE I	ど	/類	ペット	ボトル	プラスチック	*製容器包装	缶	類	古紙	•古布
年度	搬出量 (t)	搬出台数(台)								
24	3,163.04	410	927.08	121	4,870.60	580	530.66	69	2,814.25	1,418
25	3,153.39	373	935.52	108	4,683.53	561	486.51	81	2,627.73	1,183
26	3,092.65	369	927.79	106	4,371.51	531	428.93	59	2,526.29	1,137

5. 処理経費(直接経費)の推移

項目年度	処理経費 (円)	リサイクルプラザ 搬入量(t) ※1	搬入量トン当り 処理経費(円)	リサイクルプラザ 搬出量(t) ※ 2	処理量トン当り 処理経費(円)
24	582,164,968	23,311	24,974	22,746	25,594
25	581,477,227	22,048	26,374	21,878	26,578
26	615,149,999	21,259	28,936	21,300	28,881

^{※1} 搬入量は不燃、粗大、ビン類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、缶類、古紙・古布の合計。

6. 処理経費の内訳

年度項目	平成26年度 (円)	平成25年度 (円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
物件費	615,149,999	581,477,227	105.8	33,672,772
消耗品費	0	1,500	皆減	△ 1,500
不燃物等処分委託料	25,141,791	24,116,358	104.3	1,025,433
運営業務委託料	580,521,827	550,640,418	105.4	29,881,409
負担金補助及び交付金	3,782,186	3,154,296	119.9	627,890
その他				2,139,540
計	615,149,999	581,477,227	105.8	33,672,772

^{※2} 搬出量は不燃ごみ系の選別搬出量・資源ごみ系の再商品化量の合計。

IX. 余熱利用施設(クリーンスポーツランド)

1. 概要

温水プールやアスレチックジム、展示啓発コーナー等を備え、ごみ問題やエネルギー問題についての情報発信・啓発を行うとともに、老若男女を問わずだれもが利用でき、健康づくりや心身のリフレッシュができる施設です。また、地域アメニティの向上、周辺地域の活性化、情報発信の拠点として生活環境の向上に資するとともに、両市市民の交流促進も目的としています。

2. 施設概要

(1) 所在地 大阪府豊中市原田西町2番1号

敷地面積 5,200㎡ 建築面積 1,911㎡ 延べ面積 6,676㎡(建物本体)

(2) 施設 着工年月日 平成7年11月1日 竣工年月日 平成9年10月31日

総事業費 3,861,532千円

(財源内訳) 起債 3,029,200千円

府県支出金 92,500千円 一般財源 739,832千円

B1 機械室

1F 展示啓発室、アスレチックジム、フィットネススタジオ、フロント

2F 更衣室、浴室、休憩コーナー

3F 25mプール、ファミリープール、ウォータースライダー

4F 大小研修室(和室)

3. 現状

隣接する新ごみ焼却施設建設工事に伴う施設利用者の安全確保のため、平成25年4月1日から施設は休館となっています。

4. 収支状況

[歳入]

年 度	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
項目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
余熱利用施設使用料	0	0	_	0
総務管理使用料	0	0	_	0
諸収入	0	0	_	0
合計	0	0	_	0

[歳出]

	年度	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
Ţ	頁 目	(A)	(B)	(A/B)	(A-B)
人	件費	901,600	907,563	99.3	△ 5 , 963
	報酬	901,600	736,000	122.5	165,600
	共済費	0	171,563	皆減	△ 171,563
物	件費	5,578,796	13,026,577	42.8	△ 7,447,781
	需用費	1,596,676	3,877,214	41.2	△ 2,280,538
	役務費	0	75,063	皆減	△ 75,063
	委託料	3,843,120	5,699,400	67.4	△ 1,856,280
	工事請負費	0	2,039,100	皆減	△ 2,039,100
	その他	139,000	1,335,800	10.4	△ 1,196,800
	合計	6,480,396	13,934,140	46.5	△ 7,453,744

[差引収支額]

年 度	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年比(%)	増 減 額 (円)
	(A)	(円) (%) (円) (B) (A/B) (A-B)	(A-B)	
	△ 6,480,396	△ 13,934,140	46.5	7,453,744

5. 収支状況の推移

	[歳入]										(単位:円)
ij	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
	用料及び 数料	0	0	58,124,309	70,179,032	68,255,180	74,211,660	80,195,780	83,441,040	89,822,760	90,599,520
諸	収入	0	0	6,844,418	8,492,350	8,331,533	6,989,655	6,763,748	6,374,765	4,894,258	6,471,938
	雑入	0	0	6,844,418	8,492,350	8,331,533	6,989,655	6,763,748	6,374,765	4,894,258	6,471,938
	合計	0	0	64,968,727	78,671,382	76,586,713	81,201,315	86,959,528	89,815,805	94,717,018	97,071,458

	[歳出]										(単位:円)
ŗ	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
人	.件費	901,600	907,563	14,987,186	15,954,434	15,739,596	16,153,756	16,007,122	12,767,539	11,405,235	9,200,723
	報酬	901,600	736,000	7,228,800	2,409,600	2,386,400	0	0	2,438,400	6,920,206	4,670,628
	給料	0	0	4,130,304	8,276,096	8,222,720	10,294,400	10,300,800	6,159,876	2,005,216	1,977,216
	職員手当等	0	0	1,626,256	3,069,596	3,107,120	3,840,212	3,800,442	2,225,664	691,918	802,263
	共済費	0	171,563	2,001,826	2,199,142	2,023,356	2,019,144	1,905,880	1,943,599	1,787,895	1,750,616
物	件費	5,578,796	13,026,577	148,349,825	145,837,291	148,923,672	149,678,542	149,452,650	149,415,730	147,377,226	146,791,219
	賃金	0	0	0	0	0	0	0	2,555,100	2,709,760	2,719,200
	旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	需用費	1,596,676	3,877,214	44,342,893	40,920,489	42,087,763	45,441,794	39,554,707	38,762,974	42,269,490	36,601,376
	役務費	0	75,063	1,093,494	1,315,966	1,319,161	1,474,592	1,639,009	1,999,334	1,642,594	1,638,494
	委託料	3,843,120	5,699,400	99,975,892	101,129,581	103,038,313	100,385,611	100,414,900	95,019,040	87,755,402	90,593,243
	使用料及び 賃借料	0	0	2,897,975	2,471,255	2,462,435	2,313,095	7,844,034	11,079,282	12,684,980	12,484,706
	工事請負費		スライダー 撤去								会議室改修
		0	2,039,100	0	0	0	0	0	0	0	2,751,000
	備品購入費	0	0	39,571	0	0	51,450	0	0	315,000	0
	負担金補助 及び交付金	0	0	0	0	16,000	12,000	0	0	0	3,200
	償還金利子 及び割引料	139,000	1,335,800	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	6,480,396	13,934,140	163,337,011	161,791,725	164,663,268	165,832,298	165,459,772	162,183,269	158,782,461	155,991,942

[差引収支額]											
年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	
	△ 6,480,396	△ 13,934,140	△ 98,368,284	△ 83,120,343	△ 88,076,555	△ 84,630,983	△ 78,500,244	△ 72,367,464	△ 64,065,443	△ 58,920,484	

平成26年度の主な取り組み

- 市民参画協働事業と啓発活動の取り組み
- ごみ焼却施設建設工事及び

ごみ焼却施設建設付帯工事

- 豊中市伊丹市クリーンランドの環境配慮活動
 - ・豊中市伊丹市クリーンランド環境方針
 - ・ クリーンランド環境にやさしい作戦 "3 つの宣言と 33 の行動指針"

市民参画協働事業と啓発活動の取り組み

クリーンランドは、豊中市および伊丹市のごみ処理(中間処理)を行う唯一の施設として、小学生の社会見学のカリキュラムにも組み込まれ、年間7千人を超す多くの市民に来訪していただいています。

私たちは「ごみ処理」という市民生活の基盤を支える業務を通して市民との繋がりを深め、ごみ処理の現状から、「どうすれば、ごみ減量化や資源のリサイクルが促進されるか」という視点から、共に学び、共に育つ関係を築き上げるとともに、市民の「ごみ処理」に対する関心を高めるため、以下の4点を目標とし、「ごみ問題」「環境問題」を基軸にNPO等と協働して市民との新たな関係を築く活動の取り組みを進めています。

- 豊中市と伊丹市の共同の一般廃棄物処理施設である クリーンランドをもっと市民に知ってもらう
- クリーンランドでのごみ処理をPRし3Rを推進する
- 様々なイベントにおいて市民との交流を深める
- 市民の視点に立ち、市民との協働関係を深める

このことから、クリーンランドでは市民への啓発活動としまして、豊中市・伊丹市で 開催される各種イベントに積極的に参加しています。

また、こども園・保育所・幼稚園・小学校や自治会などへ出向き、ごみ処理の PR を 行い資源のリサイクルが促進されるように、啓発活動として出前講座を実施しています。

◇イベント活動◇

豊中まつり2014

目 的:多数の豊中市民が集う「豊中まつり」にクリーンランドとして積極的に参加し PR活動を展開、市民との協働イベントを通して、持続可能な地域社会づくり をめざす。

内 容: ごみ分別輪投げ・パネル展示・禁忌品の展示・施設案内パンフレット配布・クリーンランドフェスティバル案内チラシ配布・ごみぶくろう出演

主 催:豊中まつり実行委員会





伊丹市シルバーフェスティバル

目的:クリーンランドでの市民協働の取り組みをPRする。

内容:パネル展示・施設案内パンフレット配布・クリーンランドフェスティバル案

内チラシ配布

主 催:伊丹市シルバーフェスティバル実行委員会





第9回とよっぴーまつり

目 的:学校給食センターの生ごみと街路樹などのせん定枝を発酵させて、土壌改良 材「とよっぴー」を製造している豊中市の施設「緑と食品のリサイクルプラ ザ」において、クリーンランドをPRする。

内 容: ごみ分別輪投げ・パネル展示・クリーンランドフェスティバル案内チラシ配

布・ごみぶくろう出演

主催:NPO 花と緑のネットワーク





いたみ環境&リサイクル・フェア2014

目 的:クリーンランドのPRと3Rの啓発を行う。

内容:ごみ分別輪投げ・パネル展示・リユースコーナー・クリーンランドフェステ

ィバル案内チラシ配布

主 催:エコロジーマーケット実行委員会・伊丹市



第9回クリーンランドフェスティバル

目 的:「やっていますか環境にやさしいこと」をテーマにクリーンランドから3R 推進を発信する。

内容:ステージ演目(伊丹少年少女合唱団・ジャグリング・和太鼓の演奏・クイズ大会等)

• パネル展示・禁忌品展示・施設見学・出店等

主 催:クリーンランドフェスティバル実行委員会





とよなか市民環境展2014

目的:クリーンランドでの市民協働の取り組みをPRする。

内容: ごみ分別輪投げ・パネル展示・リユースコーナー・ごみぶくろう出演

主 催:NPOとよなか市民環境会議アジェンダ21





◇啓発活動◇

出前講座

目 的: クリーンランドを通して環境学習に親しんで頂く催しとともに3Rの推進を 行う。

内 容: こども園・幼稚園・保育所・小学校及び地域自治会等に出向いて、ごみ処理 についてPRし、3Rの推進を図ります。

あわせて、幼稚園・保育所・小学校には両市の収集部局と合同に実際の収集 車を持ち込み、子供たちへの理解と関心を深める活動を行っている。









ごみ焼却施設建設工事及びごみ焼却施設建設付帯工事

クリーンランドでは、「森の中の再生工場」というコンセプトのもと、第二段階として平成 28 年4月の稼働をめざす新しいごみ焼却施設の建設工事に着手しました。

受注者は、総合評価一般競争入札の手続きにより選定され、平成 23 年 11 月の議会で承認を得た JFE エンジニアリング㈱大阪支店に決定しました。

「環境に配慮した施設」、「安全で安心な市民に愛され貢献する施設」、「経済性に優れた施設」の3つの基本方針のもと、実施設計を行い、工事を進めています。

平成 26 年度は、地上部のコンクリート工事や鉄骨建て方などの建屋工事を進めると 共に、焼却炉の本体やボイラーなどごみ焼却に必要な各種機器の取り込みを行いました。

(1) 工事概要

ごみ焼却施設建設工事

〇プラント工事

• 施設規模 175 トン/日×3 炉 合計 525 トン/日

• 焼却炉型式 連続運転式ストーカ焼却炉

(廃熱ボイラ付)

蒸気タービン発電機 14,000 キロワット

〇土木建築工事

▼焼却棟、付属棟等建物工事

• 階数 地下 1 階 地上 10 階

• 構造 SRC 造、RC 造、S 造

・建築面積 14,397.33 平方メートル

• 延べ面積 37,300.19 平方メートル

建物の高さ(最高点) 43.7メートル

煙突の高さ 45 メートル

▼外構工事

ごみ焼却施設建設付帯工事

- ○解体撤去工事
- 〇土壌汚染対策工事

※ 面積などは現時点によるもので今後の行政庁への申請により変更する可能性があります。

(2)契約工期

平成 23 年 11 月 18 日~平成 28 年 3 月 15 日

<完成予想図>



豊中市伊丹市クリーンランドの環境配慮活動

豊中市伊丹市クリーンランドでは、循環型社会の構築に向けて、職員が事業活動の中で、環境に配慮した取り組みとして、「環境にやさしい作戦」を実施しています。この作戦は、具体的な行動として『3つの宣言と33の行動指針』(51ページに掲載。)を掲げています。

3年目を迎えた「環境にやさしい作戦」の取り組みは、前年度までの成果の継続・拡大と課題の克服を重点に職場ぐるみの活動を進めてきました。

その主な取組み内容及び成果、次年度に向けての課題を以下のとおり報告します。

1. 〈意識〉

- <u>職員の意識向上:取り組みの認知度の浸透拡大と意義・役割の認識向上を</u> 図る。
 - ① 職員研修の充実:5月と1月に2回開催
 - ⇒ 環境配慮活動に対する認知度割合は、前年度より着実に上昇
 - ② 小冊子の活用:7月に「3つの宣言と33の行動指針」小冊子を作成・配布。
 - ⇒ 自らの行動目標を記載し、日常的に携帯し確認することで意識向上を図る。



(次年度の課題)

- ▼ 職員全員が取り組みの意義と自らの役割を自覚し、市民の信託に応える行動を実践
 - → 新規配属職員への早期の取り組み周知と、既存職員への継続的な研修の実施

2. 〈行動〉

- <u>職員の実践活動:自らの行動の自己評価を通して取り組みを振り返り、実践</u> につなげる。
 - ① 達成度評価の試行:チーム目標に加え、33の行動指針に対する行動評価を導入
 - ⇒ 四半期毎に達成度評価と行動評価を行い、意識の高揚と実践の促進を図る。
 - ② 職場実態調査を実施:9月と3月に「ごみ箱の分別調査」を実施
 - ⇒ 職場におけるごみの分別状況調査を通して、実態把握と実践行動を促す。



(次年度の課題)

- ▼ 職場ぐるみで、組織の達成度評価と自己の行動評価を通して、活動の活性化を図る。
 - → 四半期毎に行動評価を行い、達成度を振返り更なる実践につなげていく。

3. 〈市民啓発〉

- 対外的な PR 活動:イベント等を通して、市民への 3R 活動の周知を図る。
 - ① 市民啓発の取組み:
 - クリーンランドフェスティバルや両市のイベントに積極的に参画。
 - ⇒ 市民との交流を通じて、施設とごみ処理について PR し、3R の取組みを啓発。
 - ② 施設見学と出前講座の充実:
 - こどもたちへの環境学習の推進を重点目標として取り組む。
 - ⇒ 小学生や幼稚園・保育所園児を対象に、施設見学会と出前講座を拡大実施。



(次年度の課題)

- ▼ 環境配慮活動の実践を通して、市民や事業者等との協働による取組みを推進する。
 - → 市民等との積極的な交流を基軸に、施設の PR と 3R の周知を図る。

豊中市伊丹市クリーンランド環境方針

基本理念

豊中市と伊丹市では、市民が安全でかつ快適な生活を営むことのできる良好な都市環境を確保し、これを将来の世代へ継承するため、市民や事業者・NPOと行政が協力・連携して、地球温暖化防止など地球環境保全を視野に入れ、自然と共存・共生できるまちづくりや循環型社会づくりに取組んでいます。クリーンランドでも、地域の良好な環境づくりをめざし「協働と環境創造に基づく循環型社会の実現への貢献」を基調とした「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、廃棄物の循環的な利用や適正処理に取

組むとともに、行財政改革大綱に基づき「森の中の再生工場」として、新ごみ焼却施設やリサイクルプラザ(愛称:豊中伊丹スリーR・センター)の整備事業を通して「市民が誇りにできる施設」をめざし、職員意識の共有化を基軸に組織全体の取組みとして、さらなる環境保全、環境負荷の低減、環境汚染の防止に向けた活動を推進します。

基本方針

クリーンランドは、この基本理念に基づき、今日のごみ処理施設が果たす役割を全職員が市民の視点に立って、次のことに積極的に取組んでいくことを宣言します。

- 1 環境方針の実現に向けて、環境マネジメントシステムを確立・運用し、必要に応じて見直しシステムの継続的改善を図ります。
- 2 環境に関わる法的要求事項や組織が同意するその他の要求事項を順守し、市民に信頼される 「安心・安全・安定」操業に努めます。
- 3 クリーンランドの事業活動で発生する環境影響について、法令等を順守すると同時に適切な評価を 行い、環境への負荷の低減及び汚染の予防に努めます。
- 4 公設民営方式により豊中伊丹スリーR・センターを、また公設公営方式でごみ焼却施設を整備運営するに当たり、その運営状況を安全性や環境性などの複数の視点からモニタリングを行い、外部による評価を実施します。
- 5 業務において、環境配慮行動を推進するため、下記事項を順守するとともに「環境にやさしい 作戦」を展開します。
 - (1) ごみの処理により発生する大気等の汚染物質、CO2 等の排出抑制に努めます。
 - (2) ごみの適正な搬入・処理・処分及び資源化の推進並びに違法搬入の防止に努めます。
 - (3) ごみの焼却により発生するエネルギーの有効利用を推進します。
 - (4) 敷地内の緑化を推進し、景観配慮に努めます。
 - (5) 職員に対する計画的な研修・教育を実施し、環境保全の意識向上に努めます。
- 6 この環境方針は、クリーンランドのために働くすべての人に周知すると共に、一般の人々が入手できるよう広く公表します。

制定 平成20年 4月1日 改正 平成21年10月1日

平成23年 2月1日

平成24年 4月18日

豊中市伊丹市クリーンランド事務局長 西垣 晴美

クリーンランド環境にやさしい作戦 "3つの宣言と 33 の行動指針"

"3つの宣言と 33 の行動指針"とは、クリーンランド職員が事業活動の中で環境保全等に関して配慮すべき事項を具体的な行動として示すものです。すべての職員が取り組むようにします。

1、資源の有効利用を推進します!

照明及び電気製品の使用に伴う電気は、日常業務の中で最も身近なエネルギーです。日頃からこまめな消灯や節電に心がけます。

- (1) 事務室の照明の点灯は業務時間内とし、業務時間外は消灯を徹底します。
- ② 時間外勤務時は、必要最小限の範囲で照明を点灯するようにします。
- ③ 最後に退庁・退出する職員は、不要な照明が点灯していないか確認します。
- 4) 使っていない箇所の照明や電気機器類等は消灯及び電源を切ります。
- 5 パソコンは省電力モードにし、モニターの電源を切るまでの時間は5分以内に設定します。
- 6 冷蔵庫内部を整理し、冷蔵強度を季節により適度に設定して使用します。
- (7) テレビ等の主電源はこまめに切り、待機時電力の消費を防止します。
- 8 夏季の冷房温度、冬季の暖房温度は省エネルギーに配慮した設定を行います。
- 9 夏季は「クールビズ」、冬季は「ウォームビズ」に取組みます。
- 10 エレベーターの使用を極力控えて、階段の利用を心がけます。

必ず毎日使用する「水」について、節水を心がけます。

- ① 入浴時や食器等を洗う際の水の使用は、必要最小限にします。
- ② 水漏れ等があった場合には、直ちに報告し、修理を行います。

出張や視察などの移動手段として使用する公用車の使用燃料削減に努め ます。

- (1) 余分な荷物を積まないようにします。
- 2) 急発進・急加速をやめ、省エネ運転を心がけます。
- ③ 車内の冷房温度の下げ過ぎ、暖房温度の上げ過ぎに注意します。
- 4 車両停車時はエンジンを停止(アイドリング・ストップ)します。
- (5) 公用車への相乗りの推進に加え、公共交通機関・徒歩や自転車を積極的に活用します。

2、3R(ごみの発生抑制・再使用・再資源化)を促進します!

ごみの分別を徹底し、ごみの減量化に努めます。

- ① 備品類、機器類、封筒等の長期間の使用・再利用に努めます。
- ② 紙類、ペットボトル、その他プラスチック類、缶・びん等の分別を徹底し、資源のリサイクルに努めます。
- ③ 割りばしの使用を控え、マイ箸を使用するようにします。

オフィス活動では多くのコピー用紙等を使用しています。以下の項目に 留意し、紙の使用量の削減に努めます。

- (1) 両面コピーやミスコピー用紙の裏面を積極的に活用します。
- ② コピー機の使用後や使用前には設定がリセットされているか確認し、ミスコピーを防止します。
- ③ 会議資料等は必要枚数を確認し、余分なものを作りません。
- (4) プロジェクター等の積極的な活用をし、紙資料の簡素化に努めます。
- (5) 職場内のお知らせ等はコピーを控え、共有フォルダや掲示板、電子メール等を活用します。
- 6 雷子メール等のお知らせは、該当職員自ら確認し極力印刷しないよう努めます。
- ⑦ 毎月コピー用紙の使用枚数を確認し、使用の多い月はその原因を確認し改善を行います。

3、市民への環境啓発活動を積極的に行います!

施設見学や出前講座、イベント等を通して、両市市民への3Rの啓発に努めます。

- ① 職員一人一人がごみ処理に関するエキスパートだという自覚を持ち、環境・ごみ処理全般に対する知識の向上に努めます。
- ② ごみ処理施設としての独自性を活かした環境啓発に努めます。
- ③ 施設見学会において、市民の 3R への理解が深まるよう啓発に努めます。
- 4 両市の環境イベントに積極的に関わり、環境啓発に努めます。
- ⑤ 両市の保育所や小・中・高校、自治会などへの出前講座に参加し、積極的な環境啓発に努めます。
- ⑥ 市民参加型のワークショップや環境フォーラム等にて、積極的に市民と関わり、環境について考える機会を作ります。

平成26年度(2014年度)版 ひと目でわかるクリーンランド

平成27年(2015年)11月発行

豊中市伊丹市クリーンランド 〒561-0806 豊中市原田西町2-1 TEL 06-6841-5395

編集 総務課